

地域の活動拠点のあり方検討会 ニュース

In 富木島ふれあい

令和7年度 No.002

発行者：

東海市総務部市民協働課

地域の活動拠点のあり方を考えています！

- 富木島ふれあいでは、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「ふきしま将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）から、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。今年度の第2回は、8月30日（土）（参加者6名）及び9月27日（土）（参加者9名）に開催しました。
- 前半は、これまでの検討会における参加者からの意見・提案を踏まえて、整備に関する地域の提案を4つに整理し、市の考え方を説明しました。後半は、活動拠点整備等の方向性について、良い点や気になる点について意見交換を行いました。

活動拠点の整備の方向性について多様な視点から意見交換！

地域からの提案	参加者の意見、意向など（良い点…○、気になる点…■）
①公民館を一部改修し、駐車場用地等へ指定管理者（想定：コミュニティ等）事務室設置	<ul style="list-style-type: none">○コミュニティも利用しやすい事務室が早期に確保できる。○ふらっと立ち寄れるスペースが必要■施設使用料の上昇すること、地域が主体となり施設を管理運営することに伴う地域負担や担い手の確保が懸念事項である。■現段階で、あえてコミュニティセンター化する必要があるかわからぬ。メリットがわかりにくい。■コミュニティセンターと公民館の役割が混在してしまうのではないか。■児童館と健康交流の家の既存施設を活用することになるため、施設間連携が必要になる。■最終的に④を見据えている中、①を実施すると費用がかかるため、④の可能性がなくなるのではないか。（■①を実施した場合、将来的に④へ発展することは可能かを確認したい。）
②公民館、児童館及び健康交流の家の施設間連携	<ul style="list-style-type: none">○今後、高齢者が増える中、交流の場として既存施設を活用するなど、地域のニーズや課題に応じて柔軟な有効活用を考えたい。○既存施設を残して工夫しながら有効活用できる。○施設間連携の議論は必要に応じていつでもできる。
③公民館は施設・機能を現状維持、公民館駐車場用地にコミュニティ事務室設置（プレハブ等）	<ul style="list-style-type: none">○コミュニティ事務室が早期に確保できる。○コストを最小限に抑えてコミュニティ事務室を整備し、小学校建替の際に、コミュニティセンターの整備について検討してはどうか。■コミュニティが事務室（プレハブ）の設置及び維持管理に係る経費を負担することは現実的に不可能である。■③を実施した場合、将来的に④へ発展することは可能かを確認したい。
④公民館・公民館駐車場用地以外へのコミュニティセンターの整備（＝富木島小学校建替等にあわせて検討）	<ul style="list-style-type: none">■小学校の目標耐用年数である令和27年に向けて、令和12年頃から、地域密着型施設の集約化・複合化について議論が始まるのかを確認したい。その見通しが不透明であり、現時点の方向性が決めにくい。

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526
0562-38-6141

Email
chiiki@city.tokai.lg.jp